

「わたしたちとジオパーク」を題材に

～ 日韓児童交流絵画コンテスト表彰式 ～

7月24日、由利本荘青年会議所主催の「日韓児童交流絵画コンテスト表彰式」がスマイルを会場に開催されました。絵画コンテストは、韓国梁山青年会議所との国際交流事業の一環として、にかほ市と由利本荘市の全小学生を対象に募集形式により実施している事業で、今年は2,032人の児童から作品の応募がありました。

最優秀賞のにかほ市長賞には、象潟小学校5年生の安藤琉杏君の作品「春の鳥海山と象潟の町なみ」が選ばれました。安藤君は、主に青と緑の彩色による繊細なタッチで、美しいふるさとを表現していました。



入選以上の40人が参加／安藤琉杏君（上段）

歌枕の地「象潟」を守った功績を讃え

～ 覚林和尚の功績立て看板除幕式 ～

7月25日、蛸満寺24世覚林和尚の命日を前に、その功績を紹介する看板の除幕式が蛸満寺境内で行われ、関係者ら約30人が参加しました。

看板は、「覚林和尚を顕彰する会」（竹内賢会長）が、象潟地震（1804年）で潟底が隆起し陸地となった「象潟」を、本荘藩による島々切り崩しによる新田開発から命をかけて守り抜いた功績を広く語り継ぐために制作。式では覚林和尚の功績を記した紙芝居も披露されました。

優れた景観を後世に残した覚林和尚の功績は、郷土を愛するその心も後世に伝えてくれました。



天然記念物「象潟」説明板に並んで設置

100円玉握りしめ、わくわくドキドキ！

～ 親と子のニコニコクラブ・夏祭り ～

7月26日、象潟保健センターで親と子のニコニコクラブ夏祭りが行われ、子どもと保護者20組40人が参加しさまざまなゲームを楽しみました。

この日の夏祭りには、秋田大学医学部保健学科と由利看護学校のお兄さんお姉さんあわせて9人が実習で参加。お買い物ごっこや輪投げ、ヨーヨー釣りなどのお店の人を担当すると、子どもたちは手作り100円玉を握りしめ、「次はどこに行こうかな～」と大忙しで回っていました。

100円玉がなくなるとお兄さんお姉さんに「ちょ～だい！」とおねだりする可愛らしい姿が見られました。



次はどこにいきましょうか！



子どもたちも海の幸が大好き！

今年も海の恵みに大満足！

～ 第3回にかほ海の幸まつり ～

7月22日、第3回にかほ海の幸まつりが「にかほっと前特設会場」で開催されました。あいにくの雨に見舞われましたが、地元産天然岩ガキの炭火焼きや海鮮バーベキューなどを目当てに家族連れや多くの観光客が訪れました。今年は友好都市の茨城県大洗町からキッチンカーも参加し、水揚げされたばかりのしらすをふんだんに使ったしらす丼が販売され、大変な好評を得ていました。

また、加茂水族館のクラゲ展や恒例の子ども料理教室など「海の学習会」のコーナーも設けられ、「海」尽くしの1日になりました。

自然を学ぼう

～ 鳥海山・飛島ジオパーク体験プログラム in にかほ ～

7月23日、東北公益文科大学「酒田おもてなし隊」と仁賀保高校「Benkyo&Volunteer 同好会」が企画した「鳥海山・飛島ジオパーク体験プログラム in にかほ」が行われました。

当日は豪雨に見まれ、一部予定を変更して象潟郷土資料館のほか、市内のミュージアムなどを見学しました。最後に訪れた仁賀保体育館では、噴火の実験を交えながらジオパークの魅力や素晴らしさを若者ならではの視点で教え、一味違ったアトラクションに参加者の皆さんは楽しみながら学んでいました。



大学生と高校生による実験の様子

年に1度、みんなで健康づくりを

～ 第12回いきいき健康まつりinにかほ ～

7月24日、象潟体育館でにかほ市老人クラブ連合会主催による第12回いきいき健康まつりinにかほが開催され、各支部から総勢343人が参加しました。

午前中は、輪投げ・ボール送り・スプーンリレーが行われ、ハチマキを額に巻き勇ましく競技に臨むと、周りから声援や大笑いしながら応援する姿が、あちらこちらで見られ会場は大いに盛り上がりしました。

午後には、象潟警察署による交通安全教室や健康体操、また女性会員指導によるにかほ音頭も行われ、日常を離れ、あらためて健康と向き合う1日となりました。



見て！私の華麗なフォロースルーを